平成２９年９月４日

保護者の皆様

北海道網走桂陽高等学校長　勝　木　祐　一

「桂陽・安全安心の日」について

初秋の候　皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申しあげます。

日頃より、本校の教育活動に対して、ご理解とご協力いただき心からお礼申しあげます。

さて、今日で、本校生の尊い命が失われた水難事故から一年が経ちました。

そこで本日は、亡くなられた生徒のご冥福を祈ると共に、この事故を風化させることなく、大きな教訓ととらえ、本校が「安全と安心の学校」として歩み出す決意の日として、全校集会を行いました。その中で、生徒には、次の３点について話をしました。

保護者の皆様にもこのことをお伝えしますので、ご確認ください。

１　毎月第一月曜日を**「桂陽・安全安心の日」**とします

・学校生活全てにおいて安全・安心のために、自分の才能や可能性を見つけて伸ばし、自他共に認め合い尊重するきっかけを掴み、確認する日です。

・体育館ＨＲ（全校集会）での講話や生徒会等の「学校活性化」の提案・実践を行います。

２　**「いのちを大切にする授業」**を実施します

・事故の再発防止は勿論ですが、“人としての生き方在り方”を考え深めます。

・６月に数学で実施しましたが、３ヶ月に１回、教科でテーマ設定し授業の単元や関連事項を題材にしたり、各教員が人生観等のテーマで講義をします。９月は国語科です。

３　**地元の関係機関や専門機関と連携した取組**を行います

・網走警察署や児童相談所、スクールカウンセラー（SC）や医療機関と連携して、外部の専門機関を活用した講演会や面談相談活動を実施します。

・今年度、道の「道徳教育推進事業」指定校として、高校における「知・徳・体」の充実を進め、学校間の活動交流を通して、生徒の「生きる力」の養成に努めます。

生徒には、この取組で感じ取ったことを、自分のこととして受け止め、相手を思い遣り、寄り添っていく言葉や行動等、個々のアクションのヒントにして欲しいと思っています。

人は、社会の様々な係わりの中で、活かされ成長することを生徒に説き、身の回りの問題解決や「安全・安心」の確保には、無視や沈黙、諦めを排して、自己の成長と互いを認め合い尊重することが不可欠であることを伝えました。

生徒誰もが、確かな可能性を秘めた、掛け替えのない「尊い」存在です。

網走桂陽高校は、そんな生徒が、声を掛け合い、歩み寄り、協働して成長する場所です。私たち教職員も、生徒が自分を思い描き、足下を固め、自らを鍛え磨いて、社会人として自立するための「安全安心の学校」づくりに尽力する所存です。

保護者の皆様にも、今まで以上に、ご協力ご支援をいただきたいと考えております。

改めまして、どうぞよろしくお願いいたします。